

議 事 録

会 議 名	令和6年第4回熱田警察署協議会（定例会）
日 時 ・ 場 所	<p>令和6年12月12日（木） 午後2時50分から午後5時10分までの間</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>熱田警察署 講堂</p>
出 席 者	<p>1 委員 村瀬 聡会長 池田 真由美副会長 平賀 眞美子委員 成瀬 真樹委員 都築 匡子委員 後藤 稔委員 中野 毅委員</p> <p style="text-align: right;">以上7名（定数8名）</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>2 警察署員 竹下署長 渡部副署長 小森警務課長 柳会計課長 大谷生活安全課長 坂口地域課長 二宮刑事課長 丸子刑事課長代理 鈴木交通課長 鈴木警備課長</p> <p style="text-align: right;">以上10名</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>3 有識者等 なし</p>
諮 問 事 項 等	熱田区民の防犯意識の高揚を図り、自主防犯活動を促進させるための方策について
答 申 等 の 概 要	<p>1 特殊詐欺及び自転車盗難等犯罪被害防止対策において工夫した広報・啓発活動を実施</p> <p>2 闇バイト等犯罪の勧誘を受けやすい若者に対する防犯講話等による注意喚起</p> <p>3 防犯グッズの有効活用を図る</p>
そ の 他	次回開催予定 令和7年3月頃

会議の経過及び発言の要旨	
1	車に閉じ込められた場合の脱出方法について、当署駐車場において実際に車両を使用して説明及び体験を実施した。
2	会長挨拶
3	署長挨拶
4	各種報告 管内の交通事故発生状況（交通課長説明）
5	前回の答申に対する具体的施策の推進状況（交通課長説明）
	(1) 諮問事項
	熱田区の交通安全意識向上方策について
	(2) 答申事項
	ア 自転車利用者へのヘルメット着用促進等の交通ルール及び自転車の酒気帯び運転等罰則強化の周知
	イ 道路環境(信号サイクル、道路標示等)の危険箇所の改善
	ウ 幅広い世代を対象とした交通安全教育の推進等による交通安全意識の定着
	(3) 推進施策
	ア 答申事項アについて
	(ア) 当署交通課窓口に設置してあるデジタルサイネージによる広報
	(イ) 熱田区役所窓口に設置してあるモニターによる広報
	(ウ) 管内大学内に設置してある掲示板での周知
	(エ) 管内商業施設で管内高校の生徒とともに広報
	(オ) 「交通死亡事故ゼロの日」に管内の交差点において広報
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
(カ) 管内高校の生徒と交通ルールについての検討会の開催	
(キ) 管内小学校において、第一交通機動隊と連携した自転車教室の開催	
イ 答申事項イについて	
(ア) 通学路点検や住民からの要望である、信号サイクル等の点検及び修正を実施	
(イ) 老朽化が進んでいるなどの一灯点滅式信号機を順次撤去	
(ウ) 道路管理者である名古屋市に対し、自転車専用通行帯を安全に車両が通行できるよう整備を要望	
(エ) 警察本部交通規制課の担当者と信号サイクルの変更や、横断歩道等の整備について現場を確認	
ウ 答申事項ウについて	
(ア) 管内の大学、高校、特別支援学校及び幼稚園での交通安全教室	
(イ) 老人クラブ等高齢者が集まる場所での交通安全教室	
(ウ) 外国人技能実習生に対する交通安全教室	
(エ) 管内企業での交通安全講話	
(オ) 行政、企業及び協力団体との一斉交通大監視	
(カ) SNSを駆使した情報発信	
6 諮問	
(1) 諮問事項	
熱田区民の防犯意識の高揚を図り、自主防犯活動を促進させるための方策について	
(2) 諮問事項の設定理由（生活安全課長説明）	
	記録者 警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
令和5年に熱田区内で激増した特殊詐欺をはじめ、侵入盗及び自動車盗を本年、熱田警察署の業務重点に指定し、生活安全課を中心に署員一丸となって、被害防止対策を実施し、10月末時点で特殊詐欺は減少したものの侵入盗と自動車盗は微増にとどまった。	
したがって、更なる被害減少を目指し熱田区民の防犯意識の向上を図り、自主防犯活動を促進するためにどのような被害防止方策が必要か意見をいただきたく、諮問事項とした。	
また、昨今、関東首都圏を中心に闇バイトに応募した者による住宅強盗事件が連続発生し、熱田区内においても、住宅リフォーム等と称して、個人情報入手する強盗等の下見と疑われる不審事案が多数発生し、住民の不安は非常に高まっている。このような状況から、熱田区民の皆様が不安に感じていることについて、併せて率直な意見をいただきたい。	
7 協議	
委員	・ 特殊詐欺被害防止のため、留守番電話機能を活用すると効果的だが、高齢者だけの世帯では、設定していない、又は使い方が分からない人が多いようであるので、家族や地域の方が設定を促すための活動が必要である。
	・ 警察官が行う巡回連絡の際に、防犯指導や防犯診断を行ってもらい、大変良かったという声があった。
	・ 警察官や地域住民から、地域の犯罪発生状況、不審者情報等を直接聞くことは、印象に残るため効果的である。
委員	・ 高齢者世帯に、特殊詐欺被害防止機能付き電話機を設置すること
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
は、大変効果がある。	
委員	・ 特殊詐欺犯人からの電話を体験していない人の中には、特殊詐欺被害防止機能付き電話機や留守番電話設定を必要と思わない人もいるのではないか。
	・ 若者に人気があるユーチューバー等に、犯罪防止、犯罪被害防止の情報を、若い人向けに発信してもらえれば伝わるのではないか。
委員	・ 高齢者の中には、特殊詐欺被害防止のため留守番電話設定にすると、着信履歴の確認や再生、消去等の操作が面倒であると思う人がいるのではないか。
	・ ナンバープレート盗難防止ネジがあることを、広く周知した方が良いと思う。
	・ 侵入盗被害防止には、防犯灯、防犯砂利、防犯カメラ等が有効であり、数種類の防犯対策が必要である。
委員	・ 地域の方に、犯罪被害に遭わないための対策を伝えても、それを聞いた人が自主防犯活動として実践してもらえるかどうかの問題である。
	・ 小学校で防犯対策教室を行えば、小学生が家に帰ってから、親や高齢者等の家族に話すと思うので、そういった活動を行うとよい。
	・ 自転車盗難被害の多くが無施錠であるが、施錠したくなるような方法や、盗難にあったら大変という危機感を伝える対策が必要ではないか。
	・ 早朝や夜間にジョギングや散歩をしている人に、「防犯パトロー
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨			
	<p>ル中」と記載された反射材を配布して着用してもらい、防犯活動に</p>		
	<p>協力してもらってはどうか。</p>		
委員	<p>・ 侵入盗の手口や被害防止対策を、住民に周知するとともに、防犯</p>		
	<p>グッズを活用する等、防犯意識を高める広報活動を数多く行う必要</p>		
	<p>がある。</p>		
	<p>・ 防犯カメラは犯罪の抑止力が高いことから、地域や住宅への設置</p>		
	<p>を推進するとよい。</p>		
	<p>・ 銀行やコンビニの店員が、特殊詐欺被害に遭いそうになっている</p>		
	<p>人に、被害防止のため声掛けを行っているが、もっと広く地域一体</p>		
	<p>となった声掛け活動が大事である。</p>		
	<p>・ 若い人に対して、犯罪に引き込まれて加害者とならないために、</p>		
	<p>闇バイトには決して応募しないことを啓発してもらいたい。</p>		
	<p>・ サイバー攻撃の防止対策を、企業に対して進めてもらいたい。</p>		
委員	<p>・ 各種防犯グッズの紹介や、体験ができるイベントを実施してもら</p>		
	<p>いたい。</p>		
	<p>・ 犯罪の発生場所をマップにまとめて、身近な出来事であることを</p>		
	<p>住民に感じてもらうことも、防犯意識の高揚になるのではないか。</p>		
	<p>・ 個人や地域で各種防犯グッズを活用するなど、防犯対策の見える</p>		
	<p>化を推進し、犯罪者を寄せ付けないことが必要である。</p>		
委員	<p>・ 特殊詐欺、サイバー攻撃、闇バイトによる強盗等、犯罪の手口が</p>		
	<p>巧妙になっているので、被害に遭わない対策を、どのように広報す</p>		
	<p>るかが課題である。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="967 2040 1129 2051">記録者</td> <td data-bbox="1129 2040 1426 2051">警務係長</td> </tr> </table>	記録者	警務係長
記録者	警務係長		

